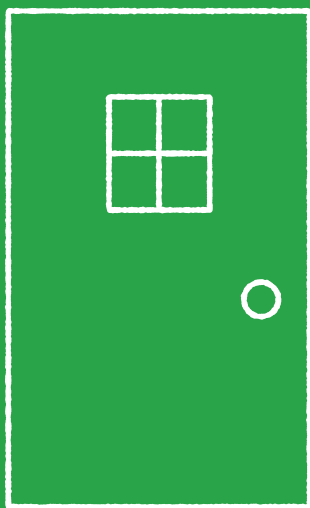




玄関

この計画の考え方



1

日向市東郷地域振興計画とは

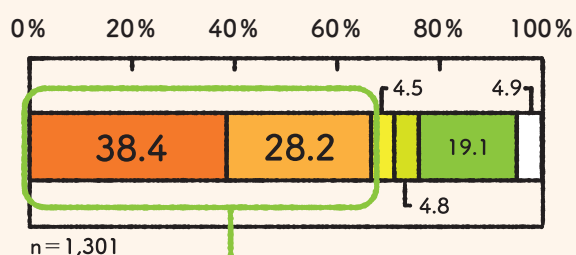


「住み続けたい」をみんなでかなえる計画

東郷地域は、かつて 7,000 人を超える住民が暮らすまちでした。東郷町から日向市東郷地域と少しずつ形を変えて、今では約 3,000 人が東郷地域で暮らしています。

地域住民アンケート調査では、東郷に暮らす人の多くが「このままここで暮らし続けたい」と思っています。東郷を離れた人の中にも「いつかはふるさとである東郷に戻りたい」と考えている人がいます。

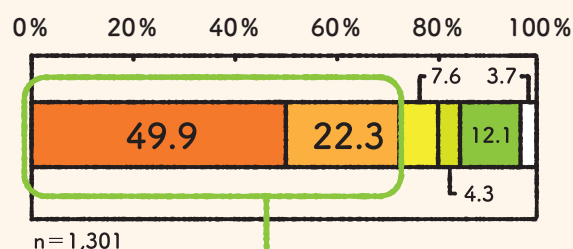
東郷地域に思い入れがありますか



思い入れあり **66.6%**

- 思い入れがある
- どちらかという思い入れがある
- 思い入れがない
- どちらともいえない
- どちらかという思い入れがない
- 不明・無回答

住み続けたいと思いますか



定住意向 **72.2%**

- 住み続けたい
- どちらかという住み続けたい
- 別の地域に住みたい
- どちらともいえない
- どちらかという別の地域に住みたい
- 不明・無回答

資料：地域住民アンケート調査（令和3（2021）年9月）

急激に人口が減り、高齢者が増える中で、これから 20 年、30 年、50 年、この場所で暮らしていくために、地域に住む人や関わる人、行政が今考え、行動しなければならないこと。

それらをまとめたのが、この「日向市東郷地域振興計画」です。

2

東郷地域の今



昔に比べたら、空き家が増えたり、若い人が減ったり…
実際どのくらい減ってるの？

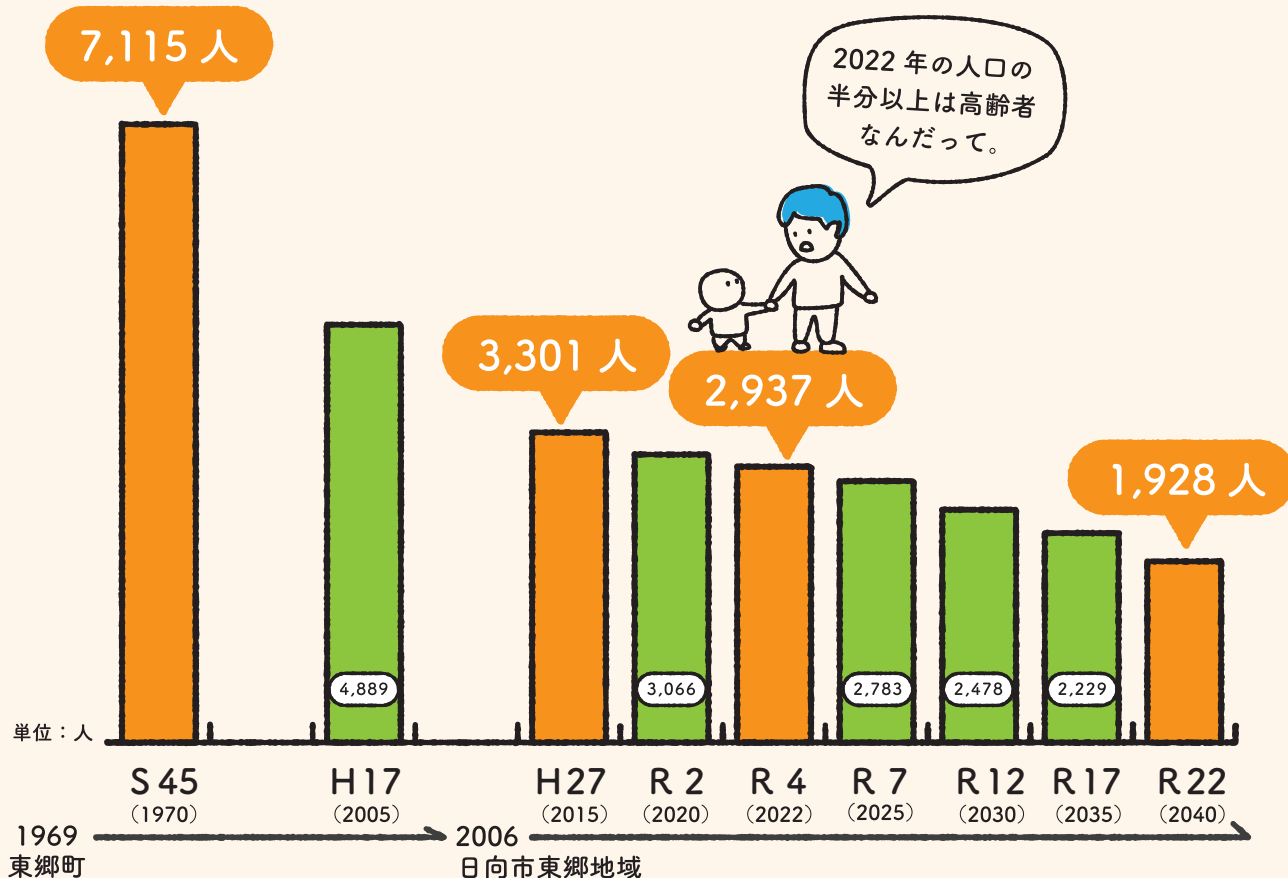
令和4(2022)年 東郷地域の人口

2,937 人

資料：住民基本台帳人口（令和4(2022)年2月1日）

人口推移と
将来予測

東郷が村から町になったばかりの昭和45(1970)年、7,115人だった人口は、令和4(2022)年には半分以上の2,937人になりました。このまま減少すると、令和22(2040)年には、総人口は2,000人を下回ると予測されています。



資料：【S45,H17】国勢調査東郷町人口 ※寺迫区を含む

【R4】住民基本台帳人口（令和4(2022)年2月1日）

【H27～R22(R4は除く)】日向市人口ビジョン（令和2(2020)年2月改定）※東郷小学校区、坪谷小学校区合計値



区の活動に参加しているのは高齢者が多いね。
私の地区では、若い人が少ない気がするよ。

令和4(2022)年 10地区の年齢構成

現在、自治会(区)の活動を担う
60歳～70歳代の人口

1,197人

544人

20年後、自治会(区)の活動を担う
40歳～50歳代の人口

令和4(2022)年の各自治会(区)の年齢構成を見ると、現在、活動の中心を担っている60歳～70歳代の人口に対し、**40歳～50歳代の人口は半分以下となっています**。また、地区別の高齢化率をみると、**10地区のうち、7地区が50%を上回っています**。

20年後、今の40歳～50歳代が、同じように自治会(区)の活動を担うことを考えると…。時代の変化に合わせた地区活動について、みんなで考えていく必要があります。

	人口	0～19歳	20～39歳	40～59歳	60～79歳	80歳以上	高齢化率	後期 高齢化率
東郷地域全体	2,937人	295人	289人	544人	1,197人	612人	53.0%	28.6%
福瀬	580人	74人	66人	116人	235人	89人	48.6%	25.3%
小野田	495人	57人	61人	86人	184人	107人	51.1%	28.7%
鶴野内	618人	82人	65人	115人	236人	120人	49.0%	26.7%
迫野内	195人	12人	8人	30人	93人	52人	63.6%	33.8%
八重原	87人	5人	3人	17人	41人	21人	62.1%	34.5%
田野	147人	12人	14人	34人	55人	32人	49.0%	28.6%
羽坂	213人	11人	20人	36人	98人	48人	58.2%	30.5%
仲深	178人	5人	16人	35人	82人	40人	59.0%	28.7%
坪谷	318人	33人	31人	57人	129人	68人	52.8%	28.9%
越表	106人	4人	5人	18人	44人	35人	67.0%	38.7%

資料：住民基本台帳人口（令和4（2022）年2月1日）

「高齢化率」…人口に占める65歳以上の人の割合／「後期高齢化率」…人口に占める75歳以上の人の割合



いつまでも東郷地域で暮らしたい。
だけど、暮らし続けるにはいろんな不安があるよね。

東郷地域で暮らし続けるために必要な取組は？

年代共通で“今後必要”と感じる取組

- 地域で充実した医療や介護を受けられるようにする取組（47.3%～56.8%）
- 生活で使う移動手段（バスなど）を充実させる取組（40.0%～42.4%）
- 働く場を確保する取組（32.0%～41.8%）

16歳～30歳代が “今後必要”と感じる取組

- 子どもの見守りに関する取組
（37.3%）

60歳以上が “今後必要”と感じる取組

- 買い物等に困っている住民を
支援する取組
（33.5%）



16歳～50歳代が “今後必要”と感じる取組

- 移住促進など、地域に若者を増やす取組
（40.6%～40.9%）

40歳以上が “今後必要”と感じる取組

- 高齢者の見守り・声掛けなどの取組
（33.4%～39.7%）

資料：地域住民アンケート調査（令和3（2021）年9月）※年代別の調査結果を一部抜粋

3

みらいの東郷地域でも大切にしていきたいもの



東郷地域には、誰もが共感する良いところもあるけど、生活するにはちょっと不便なところもあるよね。でも、強みも弱みも捉え方次第。地域には様々な可能性が秘められているはず。

地域住民アンケートでは、

東郷地域の良いところ

について、子どもから高齢者までの多くの方が、

豊かな自然環境

里山景観

歴史文化

を挙げています。

自然・景観

冠岳 / 耳川 / 坪谷川 / 澄み切った空気と綺麗な星空 /
自然と共にある里山の暮らし / 牧水公園 / 西城公園 / 堤防 / 石橋

自然の恵み

おいしい農産物 / 栗、山菜、鮎、山太郎蟹など山の幸・川の幸 / 薬草の里

歴史文化

若山牧水のふるさと / 短歌 / 山陰百姓一揆 / 臼太鼓踊りなど地域の祭り

また、自然と同じく、多くの方が

人の温かさ

地域のつながり

に関する意見を挙げています。

決して便利ではないはずの東郷の生活を「住みやすい」と感じる人が多いのも、お互いさまの精神で助け合う地域性が根付いているからです。

人の魅力

人情味とおもてなしの心 / 生涯現役元気な高齢者 / 地域とつながりの強い学校

集落機能

地域全員が顔見知り / 隣近所の助け合い / 集落活動への参加



一方で

急激に進む高齢化や人口減少で、農林業などの

地域産業の衰退

が目立ちます。

雇用の減少は、UターンやIターンなどの新しい人の流れが滞ってしまうことにもなり、地域全体の活力が損なわれるおそれがあります。

農林業

担い手の減少 / 鳥獣被害の増加 / 山林や田畑の荒廃

観光・情報発信

豊かな資源をもっと活用する視点 / プロモーションなど発信力の弱さ

また、

地域の暮らし

今後のコミュニティの あり方

についても、不安の声が挙げられています。

東郷町の時代から続いている地域の仕組み、生活環境の基盤を、これからの人口構造に合わせた形に進化させていく必要があります。

にぎわい・移住

空き家の増加 / 公共施設の老朽化 / 移住者の受け入れ機能の弱さ

人材・集落機能

行事や草刈りなど活動維持が困難 / 地域活動の担い手不足

交通

買い物・通院・通勤が困難 / 日向市中心部へのアクセスの悪さ

みらいの東郷地域でも大切にしていきたいもの

住む人、来る人が感じる、自然・歴史・文化の魅力



東郷の自然は、そこで生活する私たちに、様々な恵みをもたらし、自慢の風土をつくっています。自然環境そのものと、そこから生まれる商品、サービスをうまく活用し、発信することができれば、東郷に「住みたい」「訪れたい」人を一人でも多く地域に呼び込み、にぎわいをもたらすことができます。

東郷地域で継承される暮らし、人のぬくもり、コミュニティ



東郷に暮らす人、東郷を好きな人たちの持つエネルギーが、これからの東郷地域をつくっていきます。時代の変化に合わせて、地域のあり方を進化させ、新しい東郷地域をつくることで、人が減っても、住む人が移り変わっても、変わらずに大切にしていきたい“暮らし”と“コミュニティ”を守ることができます。